

眼科医の

健康メモ



⑤

今回は、着けて眠るだけで視力が回復する「オルソケラトロジー」について話します。レーシック手術と違い、角膜を削ったりはしないので、使用を中止すれば、角膜の変形は治り、着ける前の近視の状態に戻ります。したがって、よい視力を維持するには、毎日目に着け続ける必要があります。

このレンズは裏側が特殊な形をしているハード

オルソケラトロジー

コンタクトレンズで、毎晩寝る前に目に装着します。朝起きてレンズを外した後も、近視を矯正した形に角膜が「くせづけ」された状態になるので、角膜の形が元の状態に戻るまでのある一定時間、視力を回復させることができるのです。毎日続けることで、少しずつ効果

の続く時間が延長し、おむね着け始めてから2週間ぐらいで、よい視力が保てるようになりま

す。それ以外の角膜障害

ただし、朝起きたときドライアイのためレンズが固着していて、それを無理に外そうとすると角膜に傷が付いてしまいます。

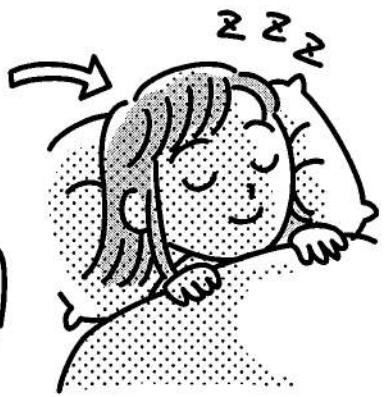
今までのハードコンタクトレンズは夜外してい

の危険度は、正しく着けている限り通常のコンタ

クトレンズと同じです。オルソケラトロジーに

のためには資格が取得でき

着けて眠れば視力回復



なかつたり、希望の職業に就けなかつたりした人にも良いかもしれませんし、手術と違って心理的な負担も少ないです。

逆に欠点は、毎日着ける手間と定期検診も含めたケアが欠かせないという事です。また、一日のうちに視力が変動することもあり、夜の運転が多い人には不向きです。

さらに強い近視や乱視、遠視の矯正はできません。新しい近視矯正方法ですので、興味のある人は眼科医に一度相談してみてください。

(スカイビル眼科医院 長・秦 誠一郎)

〈第4月曜に掲載〉